

平成 25 年 9 月 5 日

## 社内募金 640 万円を社会福祉団体など 10 団体に寄付

朝日生命保険相互会社（社長 佐藤 美樹）では、毎年 7 月に当社および関連会社役職員による全社的な募金活動（「朝日の月醸金」と称しています）を実施しております。

さらに、当社の O B ・ O G で構成される「朝日生命社友クラブ」からも募金を募り、それらに会社からの拠出金を加えた総額 640 万円を、社内の選考委員による投票で選ばれた社会福祉などの分野で活躍する以下の 10 団体へ寄付し、役立てていただくことといたしました。

この「朝日の月醸金」は、昭和 33 年、当社の創立月である 7 月を「朝日の月」と定めたことをきっかけに、「生命保険事業の社会公共性に鑑み、社会事業にいささかなりとも貢献する」という趣旨をもって開始し、今回で 56 回目という歴史を重ねております。

これまでの醸金累計額は、約 3 億 2,400 万円となりました。

### 【寄付先（団体名 50 音順・団体の詳細は別紙参照）】

以下の 10 団体に対し、各々 64 万円ずつ寄付いたします。

- ・ 認定特定非営利活動法人 幼い難民を考える会
- ・ 特定非営利活動法人 J . P O S H （日本乳がんピンクリボン運動）
- ・ 特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク
- ・ 財団法人 児童健全育成推進財団「朝日生命伸びゆく子ども基金」
- ・ 特定非営利活動法人 全国高齢者ケア協会
- ・ 認定特定非営利活動法人 D P I （障害者インターナショナル）日本会議
- ・ 公益財団法人 日本アイバンク協会
- ・ 特定非営利活動法人 日本移植支援協会
- ・ 一般社団法人 日本いのちの電話連盟
- ・ 社会福祉法人 日本点字図書館

以 上

[別紙]

## 平成 25 年度「朝日の月醸金」寄付団体一覧（団体名 50 音順）

### 認定特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

内戦によって難民となったカンボジアの子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと、カンボジアの女性たちの自立を支援するための活動を展開し、現地で給食・保育者研修、保育所運営協力、織物指導等の活動を行っている。また、東日本大震災被災地支援として保育遊具や教材・人件費、家賃、飲料水や保育アドバイスなどの援助を行っている。

### 特定非営利活動法人 J. POSH(日本乳がんピンクリボン運動)

乳がん啓発団体としては全国に先駆けて NPO 法人認証を受け、乳がんについての啓発と情報提供、マンモグラフィー検診の普及促進ならびに患者と家族のサポートなどを行っている。「受けようマンモグラフィー検査、乳がん早期発見で笑顔の暮らし」を合言葉にピンクリボン運動を推進している。

### 特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク

子ども虐待防止のための啓発活動を行っている全国組織で、子ども虐待防止の認識及び取り組みの推進を考えるシンポジウムの開催や、虐待の予防、早期発見、対策の充実などに取り組むとともに、虐待防止の象徴としてオレンジリボンを広める運動を実施している。

### 財団法人 児童健全育成推進財団「朝日生命伸びゆく子ども基金」

児童館活動の支援、児童文化向上のための活動などを幅広く行っている。また「朝日生命伸びゆく子ども基金」は、それらの活動の一環として「児童福祉文化賞」表彰などの支援を行っている。

### 特定非営利活動法人 全国高齢者ケア協会

老後の健康、介護不安を解消するためにサービス提供者の育成やサービスの質の向上に向けた活動を行う。介護相談、介護に関する啓発や研究会の開催、研究会誌や会報の発行などを行っている。

### 認定特定非営利活動法人 DPI(障害者インターナショナル)日本会議

障がい者に関する法制度に対する提言や海外の障がい者・団体との交流や研修など、障がい者自身が社会の問題として障がい者問題に取り組んでいる。また、当事者による相談機関の運営や東日本大震災による被災障がい者への支援なども行っている。

### 公益財団法人 日本アイバンク協会

角膜移植医療及びアイバンク活動（献眼登録、角膜あっせん等）の普及啓発及びその指導助成を行っている。また、角膜医療研究・教育に対する助成を行い、国民からの献眼の増加を図り、角膜疾患失明者の視力回復に寄与している。

### 特定非営利活動法人 日本移植支援協会

臓器移植を必要とする子供の命を救う為の支援・指導を行っている。そのための全国でのイベント・学習会・講演会の開催や移植に関する情報誌、書籍の発行。さらに署名活動(脳死移植の為の嘆願書)などを実施している。

### 一般社団法人 日本いのちの電話連盟

1998 年以来 14 年連続で 3 万人を超える方が自殺で亡くなるという社会状況において、24 時間体制で主に電話による相談援助活動を実施している。全国各地の 49 ヶ所のセンターでの電話相談の他、自殺予防のためのシンポジウムの開催などを行っている。

### 社会福祉法人 日本点字図書館

「指で読む点字図書」と「耳で聞く録音図書」の製作と全国の視覚障害者への無料貸出、インターネットによる図書データ配信サービスを行っている。また、点字・パソコン教室や各種相談会の開催や白杖等の用具販売も行っている。

以 上